



「手話言語条例」来年度制定へ

岩永市長は、「来年度に策定する第三次甲賀市障害者基本計画との整合性を図りながら、早い時期に手話言語条例を制定」とすると約束しました。山岡議員の質問に答えたものです。

聴覚障がい者らが手話通訳を介して傍聴するなか、昨年9月議会でも取り上げた「手話言語条例の早期制定」を求めました。山岡議員は「昨年9月時点は全国で101自治体だったが今や3倍近い27都道府県7区210市1村で制定、ぜひ甲賀市でも」と強調したところ、市長から来年度具現化する旨の積極的な答弁がありました。

手話通訳を介して傍聴



12月議会 山岡光広議員が一般質問

12月議会は11月28日から12月23日まで開かれました。日本共産党の山岡光広議員は10日一般質問に立ち、①新年度予算編成の基本について、②異常気象による自然災害にどう備えるか、③高すぎる国保税の引き下げについて、④聴覚障がい者の社会参加を促進するために手話言語条例の制定、手話通訳によるコミュニケーションの確保を、の4つのテーマで要求実現と市政の問題点を質しました。(当初は、新名神甲南ICとP.Aの接続流入路を予定していましたが、30分の持ち時間いっぱい使っても時間が足りなかったため次回に)。聴覚障がい者の方々が手話通訳を介して傍聴していただきました。

地球温暖化による気象変動 日本列島各地で甚大な被害

従来の延長線上でない防災対策を

地球温暖化による異常気象が日本列島各地で甚大な被害となり、国土と地域経済、国民の暮らしに大きな影響を及ぼしている問題について、山岡議員は「従来の延長線上ではない対策が必要」と強調し、①防災計画の見直し、②山間部・農村部での災害対応力の低下に対する対応、③記録的・集中的豪雨による内水・外水氾濫を想定したハザードマップの見直し、④河川改修・河川の浚渫・河道の雑木林の除去など、河川の流量を増やす対策、

⑤雨水幹線の整備、特に野洲川沿いにある水口町梅ノ木住宅周辺に堤防の整備、⑥災害時のガレキや家財道具など災害ゴミ廃棄物の処理計画の策定を急ぐべき、と6つの課題に絞って具体的対策を求めました。

このなかで、防災計画・ハザードマップは県との整合性を図りながら来年度見直すこと、災害ゴミについては、処理計画を策定中であることを明らかにしました。

市が実施する胃がん検診 来年度から内視鏡検査も可能

市が実施する胃がん検診について来年度から「胃内視鏡検査(胃カメラ)」とバリウム検診と併用して

実施することになります。山岡議員が昨年の12月議会でも要求していたものです。

来年度国保税引き上げるな

「基金や繰越金を活用して国保加入者に配慮した国保税率決定に努めてまいりたい。」

山岡議員は、県の仮係数によると来年度の国保税が引き上げられる可能性があることから「現行の国保税率でも平成30年度新たな滞納が558世帯もあつた。基金や繰越金など

を活用して現行より引き上げないことを求めました。これに市民環境部長は「基金や繰越金を活用して国保加入者に配慮した国保税率決定に努めてまいりたい」と約束しまし

た。また子育て世帯の「均等割軽減」について「18歳以下は1532人」との答弁を受けて山岡議員が「約5千万あれば全額免除可能。ぜひ実現を」と求めました。(2面に関連記事)

毎週発行のニュース

山岡議員が市議当選以来、毎週発行を続けている「ニュース」がもうすぐ通算800号に。

通算

800号



山岡光広議員 議会選出 監査委員に

議会選出の監査委員に。臨時議会で日本共産党の山岡光広議員が選任されました。市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理、または事務の執行を監査する市から独立した執行機関です。

やまおかみつひろ

山岡光広 市議会議員 活動報告

2020年1月1日 第795号

日本共産党